

2023年3月期
決算説明資料

2022年度決算・2023年度業績予想

2023年5月

 五洋建設株式会社

目次

2022年度決算・2023年度業績予想

■受注（個別）2022年度実績・2023年度予想	1
■2022年度 決算実績	2
■2023年度 業績予想	3
■部門別売上高・営業利益の推移（連結）	4
■財務計画・株主還元	5
■株主構成	6



本資料に記載された、予想・見通し等につきましては、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績数値等は、今後さまざまな要因によって記載の予想・見通し等とは異なる可能性があります。

■受注（個別）2022年度実績・2023年度予想

(単位：億円)

■2022年度受注実績

建設受注計 6,687億円 (2014年度に次いで過去2番目)

国内受注計 5,323億円 (1991年度に次いで過去2番目)

- 国内土木：3,106億円 (前期比 +1,451億円)
 - ・海上：2,374億円 (前期比 +1,432億円)
国内最大規模の港湾工事、洋上風力建設工事等を受注し、大幅増加
 - ・陸上：732億円 (前期比 +19億円)
民間減少も、官庁増加で微増
- 国内建築：2,217億円 (前期比 +616億円)
 - ・住宅：737億円 (前期比 +582億円)
国内最大規模の大型再開発工事の受注で大幅増加
 - ・非住宅：1,480億円 (前期比 +35億円)
民間減少も、複数の大型ごみ処理施設等受注で官庁大幅増加
- 海外：1,364億円 (前期比 +884億円)
 - ・土木：306億円 (前期比 ▲170億円)
インドネシアで大型港湾工事等を受注
 - ・建築：1,058億円 (前期比 +1,055億円)
シンガポールの大型病院工事等を受注し、大幅増加

■2023年度受注予想

前期大型受注の影響も、堅調な受注環境が継続

- 国内土木：2,200億円 (前期比▲906億円)
 - ・国土強靱化対策、防衛関連等、堅調な公共投資
- 国内建築：2,200億円 (前期比▲17億円)
 - ・重点分野（物流等）のさらなる取組強化と大型案件の獲得
- 海外：1,000億円 (前期比▲364億円)
 - ・利益重視の徹底（事前のリスク把握徹底、技術に裏打ちされた営業戦略の明確化）

		2021	2022		2023			
		実績	実績	対2021 増減	対2021 増減率	予想	対2022 増減	対2022 増減率
国内土木	官庁	1,049	2,198	1,149	109.6%	1,700	▲498	▲22.7%
	民間	606	908	301	49.7%	500	▲408	▲44.9%
	計	1,655	3,106	1,451	87.7%	2,200	▲906	▲29.2%
	海上	942	2,374	1,432	152.1%	1,450	▲924	▲38.9%
	陸上	713	732	19	2.6%	750	18	2.5%
	(海上比率)	56.9%	76.4%	-	-	65.9%	-	-
国内建築	官庁	121	559	438	360.7%	200	▲359	▲64.2%
	民間	1,479	1,658	179	12.1%	2,000	342	20.6%
	計	1,601	2,217	616	38.5%	2,200	▲17	▲0.8%
	住宅	156	737	582	374.0%	100	▲637	▲86.4%
	非住宅	1,445	1,480	35	2.4%	2,100	620	41.9%
(住宅比率)	9.7%	33.3%	-	-	4.5%	-	-	
国内計	官庁	1,170	2,757	1,587	135.6%	1,900	▲857	▲31.1%
	民間	2,085	2,566	480	23.0%	2,500	▲66	▲2.6%
	計	3,255	5,323	2,067	63.5%	4,400	▲923	▲17.3%
海外	土木	476	306	▲170	▲35.7%	700	394	128.8%
	建築	4	1,058	1,055	28641.0%	300	▲758	▲71.6%
	計	480	1,364	884	184.4%	1,000	▲364	▲26.7%
建設事業計	土木	2,131	3,412	1,281	60.1%	2,900	▲512	▲15.0%
	建築	1,604	3,275	1,671	104.2%	2,500	▲775	▲23.7%
	計	3,735	6,687	2,952	79.0%	5,400	▲1,287	▲19.2%
その他	14	4	▲10	▲69.7%	5	1	17.1%	
合計	3,749	6,691	2,942	78.5%	5,405	▲1,286	▲19.2%	

2022年度 決算実績

(単位：億円)

増収も大幅減益 ～海外で2期連続工事損失計上

■ 個別

※予想比：2023年2月予想比

○売上高：4,691億円(前期比+401、+9.3%、予想比+186)

3部門ともに手持工事が進捗し、増収

▷国内土木：1,850億円(前期比+245、+15.2%、予想比+50)

▷国内建築：1,601億円(前期比+84、+5.6%、予想比+101)

▷海外：1,235億円(前期比+82、+7.1%、予想比+35)

○売上総利益：229億円(前期比▲98、▲29.9%、予想比▲6)

▷国内土木：279億円(前期比+19)、15.1%(前期比▲1.1P)

・利益率低下も、完工増により増益

▷国内建築：91億円(前期比▲15)、5.7%(前期比▲1.3P)

・利益率6%を割り込むも、一定の利益を確保

・資材価格高騰の影響で利益率が小幅低下

▷海外：▲143億円(2期連続で損失計上)

・工事損失：約160億円(前期90⇒2年で250億円)

・資機材価格・燃料費等の高騰+個別工事の施工リスク(技術的課題、資機材調達、下請契約等)や為替リスクの顕在化

○営業利益：28億円(前期比▲105、▲79.1%、予想比▲2)

○経常利益：5億円(前期比▲127、▲96.0%、予想比▲5)

・為替差損▲22億円(前期比▲24)

為替ヘッジコスト増やマイナー通貨の下落

○当期純利益：2億円(前期比▲90、▲98.2%、予想比+2)

■ 連結

○売上高：5,022億円(前期比+440、+9.6%、予想比+172)

○売上総利益：264億円(前期比▲108、▲29.0%、予想比▲6)

○営業利益：41億円(前期比▲118、▲74.2%、予想比▲4)

○経常利益：14億円(前期比▲142、▲91.0%、予想比▲6)

○当期純利益：7億円(前期比▲101、▲93.6%、予想比+2)

	個別						連結					
	2022実績		対2021増減		2022予想(23.2発表)		2022実績		対2021増減		2022予想(23.2発表)	
国内土木	1,850		245	15.2%	1,800		1,966		224	12.8%	1,900	
国内建築	1,601		84	5.6%	1,500		1,624		90	5.9%	1,550	
海外	1,235		82	7.1%	1,200		1,332		129	10.7%	1,300	
完成工事高	4,686		411	9.6%	4,500		4,922		442	9.9%	4,750	
その他	4		▲10	▲69.7%	5		100		▲2	▲2.4%	100	
売上高	4,691		401	9.3%	4,505		5,022		440	9.6%	4,850	
国内土木	279	15.1%	19	▲1.1p	285	15.8%	287	14.6%	11	▲1.2p	290	15.3%
国内建築	91	5.7%	▲15	▲1.3p	90	6.0%	95	5.9%	▲13	▲1.2p	95	6.1%
海外	▲143	▲11.6%	▲99	▲7.8p	▲140	▲11.7%	▲134	▲10.1%	▲100	▲7.3p	▲130	▲10.0%
完工総利益	227	4.8%	▲95	▲2.7p	235	5.2%	248	5.0%	▲102	▲2.8p	255	5.4%
その他	2	43.8%	▲3	11.1p	0	0.0%	16	16.2%	▲6	▲5.1p	15	15.0%
売上総利益	229	4.9%	▲98	▲2.7p	235	5.2%	264	5.3%	▲108	▲2.9p	270	5.6%
一般管理費	201	4.3%	8	▲0.2p	205	4.6%	223	4.4%	10	▲0.2p	225	4.6%
国内土木	169	9.1%	13	▲0.6p	170	9.4%	171	8.7%	5	▲0.8p	170	8.9%
国内建築	18	1.1%	▲17	▲1.2p	20	1.3%	21	1.3%	▲16	▲1.1p	20	1.3%
海外	▲161	▲13.0%	▲99	▲7.7p	▲160	▲13.3%	▲160	▲12.0%	▲101	▲7.1p	▲155	▲11.9%
その他	2	37.9%	▲3	7.8p	0	0.0%	10	9.6%	▲6	▲5.6p	10	10.0%
営業利益	28	0.6%	▲105	▲2.5p	30	0.7%	41	0.8%	▲118	▲2.7p	45	0.9%
営業外損益	▲23		▲21		▲20		▲27		▲24		▲25	
経常利益	5	0.1%	▲127	▲3.0p	10	0.2%	14	0.3%	▲142	▲3.1p	20	0.4%
特別損益	2		▲2		0		3		▲2		0	
税引前利益	7	0.2%	▲129	▲3.0p	10	0.2%	17	0.3%	▲144	▲3.2p	20	0.4%
当期純利益	2	0.0%	▲90	▲2.1p	0	0.0%	7	0.1%	▲101	▲2.2p	5	0.1%

	2022実績		対2021増減		2022予想(23.2発表)		2022実績		対2021増減		2022予想(23.2発表)	
総資産	4,955		395		4,400		5,082		408		4,700	
純資産	1,351	27.3%	▲48	▲3.4p	1,333	30.3%	1,570	30.9%	▲28	▲3.3p	1,537	32.7%
有利子負債残高	863	17.4%	5	▲1.4p	860	19.5%	937	18.4%	11	▲1.4p	960	20.4%
現預金残高	465		65		470		505		57		525	
純有利子負債	399	8.0%	▲60	▲2.0p	390	8.9%	432	8.5%	▲45	▲1.7p	435	9.3%
D/ELシオ(ネット)	0.3		▲0.0		0.3		0.3		▲0.0		0.3	
ROE	0.1%		▲6.4p		0.0%		0.4%		▲6.3p		0.3%	

2023年度 業績予想

(単位：億円)

2023年度予想 ～売上高6,000億円超へ（過去最高）

■ 連結

○売上高：6,100億円（前期比 +1,078億円、+21.5%）

▷国内土木：2,650億円（前期比 +684億円、+34.8%）

- ・大型港湾工事等の手持工事の進捗で増収
- ・港湾区域の洋上風力発電の建設が本格化

▷国内建築：1,850億円（前期比 +226億円、+13.9%）

- ・大型再開発工事等の手持工事の進捗で増収
- ・物流やごみ処理施設等の複数の大型案件が着工→本格化

▷海外：1,500億円（前期比 +168億円、+12.6%）

- ・シンガポールの駅舎、病院等の大型建築工事の進捗で増収

○売上総利益：578億円（前期比 +314億円、+118.7%）

▷国内土木：418億円（前期比 +131億円、+45.5%）

- ・完工増と高水準の利益率継続で大幅増益
- ・船舶稼働も安定し、船舶管理収支が改善

▷国内建築：115億円（前期比 +20億円、+20.9%）

- ・資材価格上昇の影響が残るも、完工増で増益
- ・資材費高止まり・供給制約、労務逼迫等に注視

▷海外：30億円（前期比 +164億円、大幅改善）

- ・前年度までの損失引当工事の割合が高く、利益水準の回復は緩やか
- ・建設資機材・燃料のさらなる上昇、為替変動、ワーカー不足、賃金上昇等に注視を継続

○営業利益：340億円（前期比 +299億円、大幅改善）

○経常利益：320億円（前期比 +306億円、大幅改善）

○当期純利益：220億円（前期比 +213億円、大幅改善）

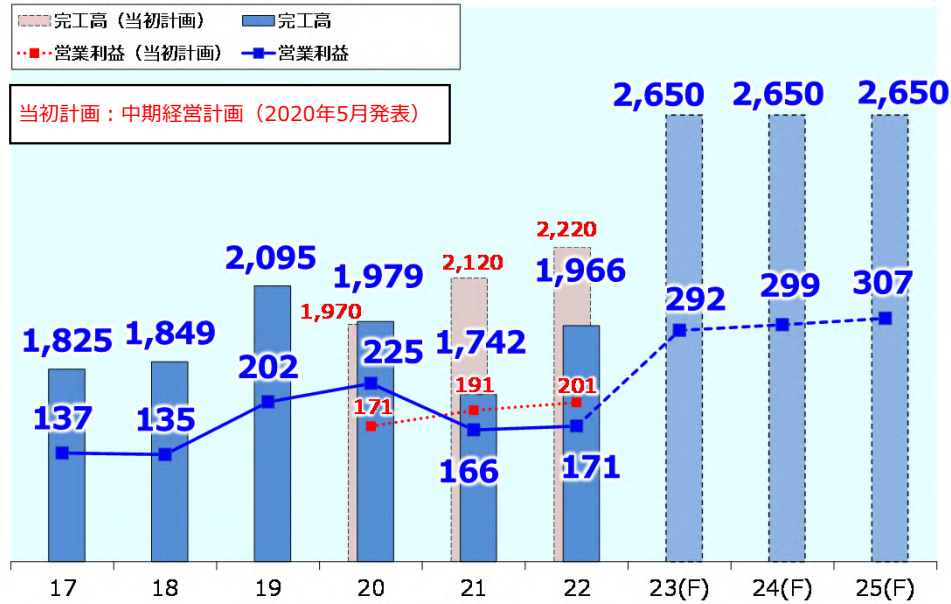
	個別						連結					
	2022実績		2023予想		対2022増減		2022実績		2023予想		対2022増減	
国内土木	1,850		2,500		650	35.1%	1,966		2,650		684	34.8%
国内建築	1,601		1,800		199	12.4%	1,624		1,850		226	13.9%
海外	1,235		1,400		165	13.4%	1,332		1,500		168	12.6%
完成工事高	4,686		5,700		1,014	21.6%	4,922		6,000		1,078	21.9%
その他	4		5		1	17.1%	100		100		0	0.1%
売上高	4,691		5,705		1,014	21.6%	5,022		6,100		1,078	21.5%
国内土木	279	15.1%	400	16.0%	121	0.9p	287	14.6%	418	15.8%	131	1.2p
国内建築	91	5.7%	110	6.1%	19	0.4p	95	5.9%	115	6.2%	20	0.4p
海外	▲143	▲11.6%	20	1.4%	163	13.0p	▲134	▲10.1%	30	2.0%	164	12.1p
完工総利益	227	4.8%	530	9.3%	303	4.5p	248	5.0%	563	9.4%	315	4.3p
その他	2	43.8%	0	0.0%	▲2	▲43.8p	16	16.2%	15	15.0%	▲1	▲1.2p
売上総利益	229	4.9%	530	9.3%	301	4.4p	264	5.3%	578	9.5%	314	4.2p
一般管理費	201	4.3%	215	3.8%	14	▲0.5p	223	4.4%	238	3.9%	15	▲0.5p
国内土木	169	9.1%	280	11.2%	111	2.1p	171	8.7%	292	11.0%	121	2.3p
国内建築	18	1.1%	35	1.9%	17	0.8p	21	1.3%	38	2.1%	17	0.8p
海外	▲161	▲13.0%	0	0.0%	161	13.0p	▲160	▲12.0%	2	0.1%	162	12.2p
その他	2	37.9%	0	0.0%	▲2	▲37.9p	10	9.6%	8	8.0%	▲2	▲1.6p
営業利益	28	0.6%	315	5.5%	287	4.9p	41	0.8%	340	5.6%	299	4.8p
営業外損益	▲23		▲20		3		▲27		▲20		7	
経常利益	5	0.1%	295	5.2%	290	5.1p	14	0.3%	320	5.2%	306	5.0p
特別損益	2		▲5		▲7		3		▲5		▲8	
税引前利益	7	0.2%	290	5.1%	283	4.9p	17	0.3%	315	5.2%	298	4.8p
当期純利益	2	0.0%	200	3.5%	198	3.5p	7	0.1%	220	3.6%	213	3.5p

	2022実績		2023予想		対2022増減		2022実績		2023予想		対2022増減	
総資産	4,955		5,300		345		5,082		5,500		418	
純資産	1,351	27.3%	1,482	28.0%	131	0.7p	1,570	30.9%	1,721	31.3%	151	0.4p
有利子負債残高	863	17.4%	960	18.1%	97	0.7p	937	18.4%	1,135	20.6%	198	2.2p
現預金残高	465		495		30		505		565		60	
純有利子負債	399	8.0%	465	8.8%	66	0.7p	432	8.5%	570	10.4%	138	1.9p
D/ELシオ(ネット)	0.3		0.3		0.0		0.3		0.3		0.1	
ROE	0.1%		14.1%		14.0p		0.4%		13.4%		12.9p	

部門別売上高・営業利益の推移 (連結)

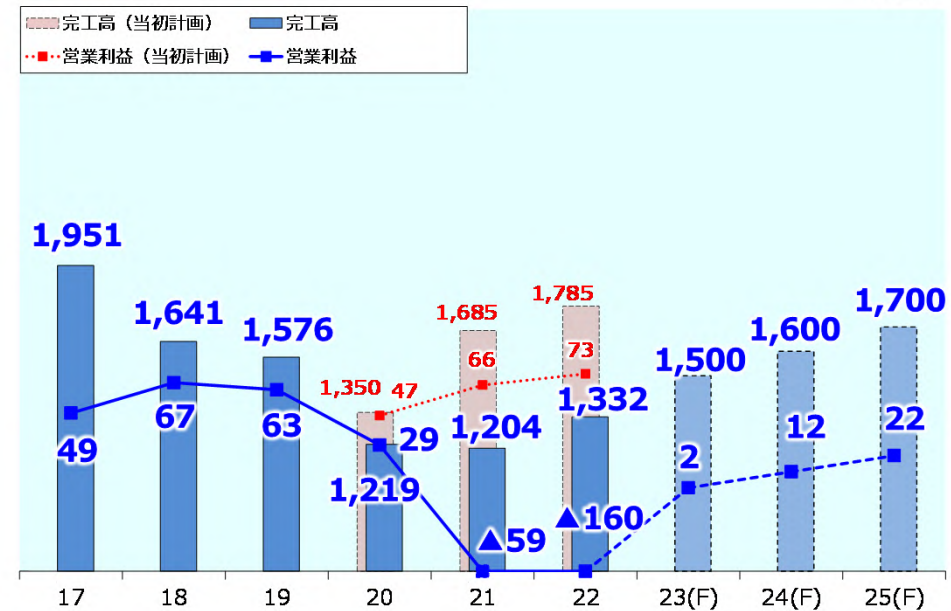
● 国内土木

(億円)



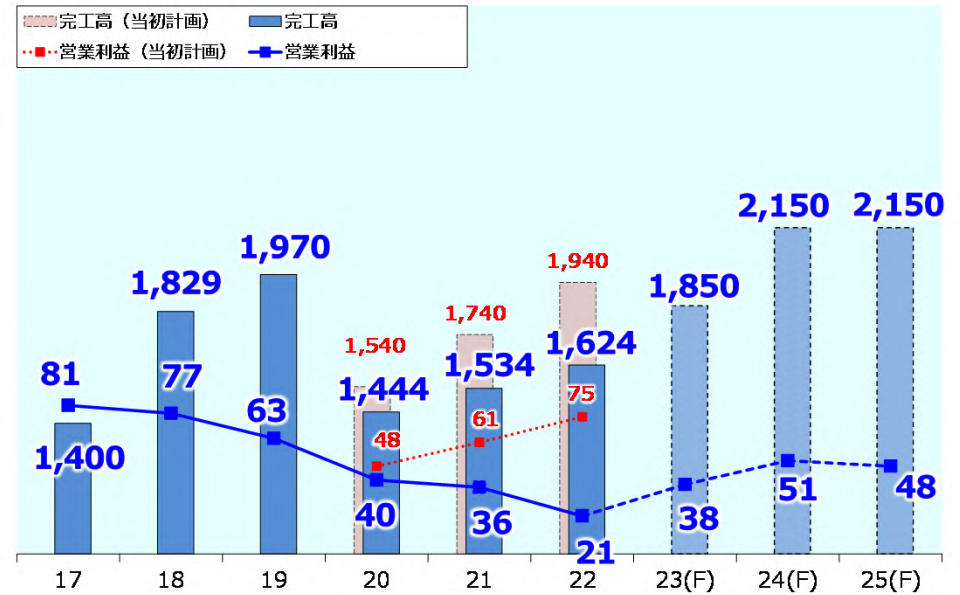
● 海外

(億円)



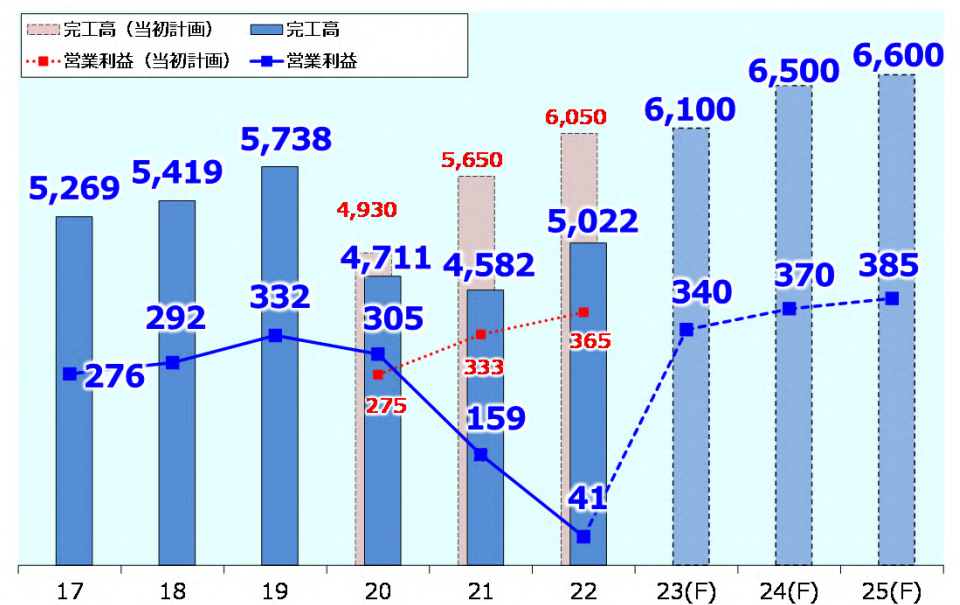
● 国内建築

(億円)



● 全社 (その他を含む)

(億円)



●財務計画 ～拡大する事業量と戦略的投資への資金確保～

○拡大する事業量

売上高の増加：5,022億円（22年実績）→ 6,100億円（23年予想）

○戦略的投資：設備投資 100億円/年規模⇒300億円/年規模へ

22年度：室蘭製作所新工場（再エネ100%、太陽光発電・水素エネルギー使用）
（22年10月完成）等

23年度：3隻目のSEP船「Sea Challenger*1」（1,600t吊に改造）
（24年度完成予定）

ケーブル敷設船（26年度完成予定）等

*1:DEME Offshore社(ベルギー)との合弁会社ジャパンオフショアマリン(JOM) で保有予定

その他：各種作業船のICT・AI活用、CN化等

○資金調達

・設備投資資金、事業拡大に伴う運転資金の増加による有利子負債の増加
社債による調達：23年度に200億円起債予定（当期償還100億円）

●株主還元

○利益配分の基本方針

資本の充実を図り、設備投資などの成長投資を行うとともに、
株主への利益還元を継続的かつ安定的に行う

○株主還元： 配当性向に加えて、総還元性向の目標を設定

目標（連結）：総還元性向 40%（配当性向30%以上）

21年度：普通配当 23円（配当性向61.1%）（期初計画32.9%）

※21年度の業績悪化は一過性であるため配当額を維持

22年度：普通配当 24円（同1,002%）（総還元性向1,002%）

※業績悪化の影響で22年度の自社株買いは見送り

23年度：普通配当 24円（同31.2%）

自社株買い 還元性向約10%

CF・有利子負債残高の推移

（単位：億円）

		2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 計画
連結	営業CF	307	▲77	197	220
	投資CF	▲128	▲118	▲117	▲290
	財務CF	▲31	14	▲70	130
	期末資金残高	598	448	505	565
	有利子負債残高	822	926	937	1,135
	（対前年度比）	47	103	11	198
	純有利子負債	224	477	432	570
個別	期末資金残高	556	400	465	495
	有利子負債残高	770	858	863	960
	（対前年度比）	23	89	5	97

※CF：連結CF計算書、期末資金残高：B/S上の現金預金

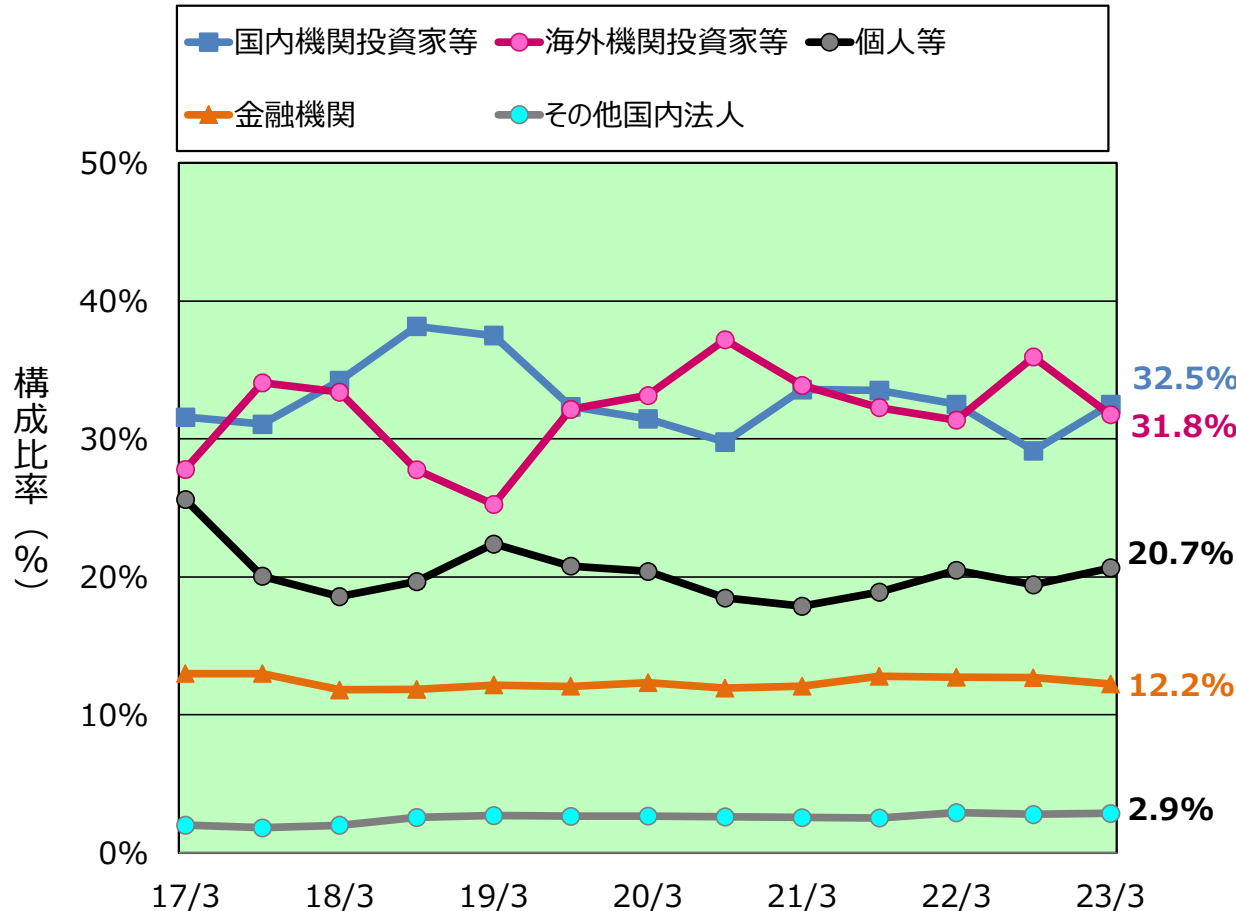
年間配当額・配当性向・総還元性向の推移（連結）

	2020		2021	2022		2023
	実績	含記念 配当	実績	計画	実績	計画
年間配当額（円）	23	28	23	24	24	24
配当性向（%）	31.3	38.1	61.1	32.7	1,002	31
総還元性向（%）				40	1,002	40

株主構成 (2023年3月末)

- 発行済株式総数 : 286,013,910株 (自己株式 211,334株を含む)
- 株主数 : 46,805名 (前期末比 1,871名増)
- 株主構成 : 国内機関投資家等32.5% (前期末比0.0p) 海外機関投資家等31.8% (同+0.4p)
個人等20.7% (同+0.2p) 金融機関12.2% (同▲0.5p) その他国内法人2.9% (同▲0.1p)
→ 国内外の機関投資家等64.2% (前期末比+0.4p)

株主トップ10



2023年3月31日		
株主名	株式数	率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 (信託口)	48,643,400	17.0
日本カストディ銀行 (信託口)	28,640,400	10.0
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	8,751,475	3.1
みずほ銀行	7,059,696	2.5
明治安田生命保険	5,990,400	2.1
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A / C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	4,948,100	1.7
東京海上日動火災保険	4,763,352	1.7
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,730,529	1.7
ジユニパ	4,454,900	1.6
損害保険ジャパン	4,280,000	1.5
上位10位計	122,262,252	42.8